

## 第7章 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

### (1) 歴史的風致維持向上施設の整備又は管理に関する基本的な考え方

歴史的風致維持向上施設とは、松江市固有の歴史的風致を維持及び向上させるために必要な公共施設であり、その整備と適切な管理によって、歴史・文化のまちづくりを推進していく効果を見込めるものである。このため、その整備は、歴史的風致を構成し且つその保全に寄与するもので、本計画の期間内に確実に実施されるものを対象とする。また、整備された施設の維持管理が確実に行われるものを対象としていく。

ついては、本計画における歴史的風致維持向上施設を以下のような公共施設とし、周辺の歴史的なまちなみや文化財、さらに地域における活動と一体となった整備を進め、適切な維持管理を行っていくものとする。

#### ①歴史的風致を形成している建造物の維持・向上（保存・修理事業など）

歴史的風致を形成している現存の建造物については、その地域の歴史・文化やまちなみの特徴を表す重要な構成要素であり、良好な状態に保つことが歴史的風致の維持向上に直結するものである。よって、適切な保存・修理と維持管理に努めていく。

また、歴史上存在したもので、その復元によって歴史的風致の維持向上につながると考えられる建造物については、発掘調査や史料文献調査などを行った上で、復元または案内板等を設置するなどして、歴史的風致の維持向上に努める。

#### ②歴史的風致を形成する建造物の周辺環境の向上（道路整備・修景など）

松江市固有の歴史的風致を形成する建造物の周辺環境においては、道路や公園などの施設について、その歴史的建造物や地域の特徴が作り出す歴史的なまちなみや景観の特性などを十分に配慮した上で、形態や意匠に工夫を施しながら整備を行うものとする。

特に道路では、真名井神社や佐太神社の参道、宿場町の短冊形の町割りを残した宍道エリアの小路など、歴史的な景観に沿った形に整備することで周辺一帯の歴史的風致を一層高めることができるものについて整備を推進していく。

また、主要なまち歩きルートに関しては歩行環境の改善にも配慮して、歩道の段差解消・色調の統一化・側溝の改良などを行い、回遊性の向上を目指す。

さらに、公共施設ではないが、一般住宅などについても城下町風情を漂わせる伝統美観などを維持向上するため、景観形成基準に沿った修景補助を積極的に実施することで、市民と行政が一体となって歴史的なまちなみや景観を高めていく。

### ③歴史・文化を紹介する施設、案内板等の施設の整備事業

松江の歴史的風致の構成要素となる歴史的建造物や活動の特徴や重要性などを、地域住民並びに来訪者に広く周知することで、歴史的なまちなみや伝統的な活動を後世へ継承していく気運を醸成し、併せて観光の振興にもつなげていく。

特に、360年の歴史を持つ船神事「ホーランエンヤ」については、その魅力を発信する施設として「ホーランエンヤ記念館」を整備する。また、重点区域を中心に、市内各所に歴史的意義のある地名・町（丁）名の由来などの案内板を設置するとともに、まち歩きの出発点施設の整備も併せて行っていくことで、市民や観光客に松江の歴史・文化を広く周知していく。

### ④その他、歴史的風致の維持及び向上に資する事業

松江市における歴史的風致を維持向上するにあたっては、当然ながら①～③で前述した事業・内容の推進が重要となるが、より総合的に松江の歴史・文化を高めていくためには、その他の関連する事業を一体的に推進していくことが必要となる。

特に、第6章の（１）「松江市全体にわたる方針」でも述べたとおり、本市では「わがまち自慢発掘プロジェクト」などの事業に代表されるように、市民の間に歴史・文化的な地域財産を活用した観光やまちづくりを推進していく機運が高まってきている。そこで、高まる地域住民の思いを松江の歴史まちづくりの推進力にするため、市民と行政の協働によって歴史的なまちなみを高めていく体制をさらに強化していく必要がある。

については、「松江・歴史文化まちづくり推進事業」として、重点区域に該当する地区を中心に、住民発意による魅力と個性ある歴史的まちなみを形成する提案事業を行政が積極的に展開・支援していく流れをつくっていく。これによって、松江固有の歴史的風致を市民・行政の一体となった取組みによって総合的に維持向上していくことにつなげていくものである。

(2) 歴史的風致維持向上施設の整備又は管理に関する事項

①歴史的風致を形成している建造物の維持・向上（保存・修理事業）

i) 興雲閣保存修理・活用事業

事業名	興雲閣保存修理・活用事業
整備主体	松江市
事業期間	平成24年度～27年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）（平成24年度～27年度） 島根県文化財保存事業費補助金（島根県補助事業）（平成24年度～27年度）
事業位置	 <p>※緑線部分は史跡松江城エリア ※赤線部分は松江城（城跡）並びに松江城下町遺跡</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由等	<p>興雲閣は城山公園内に整備された明治期の擬洋風建築（木造）の建物で、当初は明治天皇の行在所として整備され（行幸は実現せず）、1907年（明治40）皇太子嘉仁親王（大正天皇）の山陰行啓にあたって御宿泊所となり迎賓館としての役割を果たした。また、昭和天皇も同じく行啓の際の御宿泊所とされている。その後は展覧会場としても使用され、平成22年度まで建物を保護しながら郷土館として郷土資料を収集・展示してきた。</p> <p>鑿行列が現在の形で行われるようになった契機は大正・昭和天皇御大典記念事業であり、関連の深い興雲閣（両天皇の御宿泊所）を保存修理することは、「往時の姿」を一層鮮やかに留めるとともに、鑿行列を中心とした松江の歴史を伝承・展示する施設としての機能を充実させることになり、歴史的風致の維持及び向上に寄与するものである。</p>
事業概要	<p>老朽化の進んだ興雲閣の建物の修理・復原を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施設計（平成24年度）</li> <li>・保存修理工事（平成25年度～27年度）</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  </div> <p style="text-align: center;">建物正面</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <p>2階廻廊</p> <p>2階展示室</p> </div>

ii) 美保関灯台旧吏員退息所整備事業

事業名	美保関灯台旧吏員退息所整備事業
整備主体	松江市
事業期間	平成21年度～23年度
支援事業名	市単独事業(平成21年度～22年度) 歴史的環境形成総合支援事業(平成22年度～23年度)
事業位置	 <p>※赤線部分は埋蔵文化財包蔵地 (古墳、横穴、散布地など)</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由等	<p>美保関灯台旧吏員退息所主屋等(主屋・倉庫・便所)は国の登録有形文化財であり、美保関灯台に隣接して建ち、昭和37年(1962)まで灯台看守の宿泊施設として使用され、美保関エリアにおける「海運で栄えた港町」としての歴史的風致を構成する重要な建造物である。現在は松江市が所有し、文化財施設として公開するとともに、美保関観光ビュッフェとして観光客や市民に軽食も提供している。</p> <p>建物は主屋・倉庫・便所とも森山石と呼ばれる凝灰岩質砂岩を積み上げた石造平屋建であるが、建築後110年以上が経過し老朽化が著しい。よって、これを改修(耐震補強を含む)することで往時の外観保存と機能の充実を図り、市民や来訪者にとって歴史・文化的な価値や魅力を高めることで、港町美保関の歴史的風致を維持向上させるものである。</p>
事業概要	<p>建物は建築後110年以上経過し老朽化が著しいため、改修工事を行い、状態の保全と機能向上を図るもの。</p> <p>・実施設計(平成22年度)、改修工事(平成23年度)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <p>美保関灯台(右)と灯台旧吏員退息所主屋等(左)整備前</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <p>建物外観</p> <p>建物正面(玄関)</p> </div>



### iii) 弁天波止場常夜燈整備事業

事業名	弁天波止場常夜燈整備事業
整備主体	松江市
事業期間	平成23年度
支援事業名	市単独事業
事業位置	 <p>※赤線部分は宝寿寺山古墳</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由等	<p>弁天波止場に明治3年に建設された常夜燈は、来待石で造られたもので、往時は美保関港に入港する船にとっての灯台としての機能を果たすなど、港町として栄えた美保関の面影を色濃く残す歴史的遺産である。しかし、長年の侵食によって倒壊の危険性もあるため、これを修繕する工事を行い、併せて周辺環境の整備（近接する既存倉庫の解体撤去、道路修景、まち歩き案内板やベンチの設置など）を実施する。この常夜燈と周辺環境の充実化によって、海運の拠点としての栄えた美保関の歴史的まちなみを一層高めることになり、市民や観光客にとってより魅力的な歴史的空間として維持向上されることにつながるものである。</p>
事業概要	<p>長年の侵食によって倒壊の危険性もある常夜燈の修繕工事を行い、併せて周辺環境の整備も実施するもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常夜燈修繕工事、周辺環境整備工事（実施年度：平成23年度）</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">美保関の港町</p> <p style="text-align: center;">常夜燈（正面）</p> <p style="text-align: center;">常夜燈・周辺整備 イメージ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <p>整備前</p> <p>整備後</p> </div>

#### iv) 史跡松江城石垣修理事業

事業名	史跡松江城石垣修理事業
整備主体	松江市
事業期間	平成13年度～31年度
支援事業名	史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備費(文化庁補助事業)(～平成26年度) 歴史生き活き! 史跡等総合活用事業(文化庁補助事業)(平成27年度～31年度)
事業位置	 <p>※緑線部分は史跡松江城エリア ※赤線部分は松江城(城跡)並びに 松江城下町遺跡</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由等	<p>史跡松江城は、城下町松江の歴史的風致を形成する最も重要な要素の一つであるが、その石垣については、変形や落石、近代以降の積み直し等により、近世期の姿を失ってしまうことがある。本事業を進める上で、より計画的に江戸時代の工法による石垣の復元が行えることとなり、近世期における城下町の景観を良好な形に蘇らせ、松江の歴史的な町並みや風情を一層高めることができ、歴史的風致の維持向上に寄与するものである。</p>
事業概要	<p>史跡松江城において、変形や落石、近代以降の積み直し等により、近世期の風貌を失った石垣を、江戸時代の工法で復元する。</p> <p>●石垣修理【事業期間】平成13年度～31年度 【修理予定面積】787.7㎡</p> <p>○二之丸下ノ段東側堀石垣(平成19年度～21年度修理箇所)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <p>【修理前】</p> <p>【修理後】</p> </div> <p>○東内堀石垣(南東角)(平成19年度修理箇所)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <p>【修理前】</p> <p>【修理後】</p> </div> <p>●石垣総合調査【事業期間】平成24年度～平成29年度 (石垣調書の作成および石垣修理年次計画の検討)</p>

v) 史跡出雲国分寺跡整備事業

事業名	史跡出雲国分寺跡整備事業
整備主体	松江市
事業期間	平成22年度～31年度
支援事業名	埋蔵文化財緊急調査費国庫補助金(平成22年度～27年度) 市単独事業(平成28年度～31年度)
事業位置	 <p>※赤線部分は埋蔵文化財包蔵地 (古墳、寺院跡、集落跡、水田跡、生産遺跡など)</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由等	<p>史跡出雲国分寺跡は、古代出雲の繁栄を物語る古墳や奈良時代の出雲国府跡、さらに国造家に関連の深い神社などとともに、古代出雲を感じさせる歴史的空間を構成する要素となっているが、現状は平面整備のみが実施されている状況である。このため、この国分寺跡の全容解明を目指した発掘調査を実施し、その結果をもとに復元等の整備工事を行うことで、周辺一帯における風土記時代の歴史的な景観・風情をさらに高め、歴史的風致を向上させていくものである。</p>
事業概要	<p>史跡出雲国分寺跡の全容解明を目指して発掘調査を実施し、その結果をもとに復元等の整備工事等を行う。</p> <p>【事業期間】平成22年度～31年度 発掘調査、用地買収、整備 ※平成23年度～26年度は発掘調査報告書の作成を行う。 ※平成27年度は、発掘調査指導委員会を開催し、平成28年度以降の計画を立案する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>国分寺の発掘調査</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>門跡の遺構</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p style="text-align: center;">溝跡に堆積する古瓦</p>



## vi) 神魂神社防災施設改修事業




事業名	神魂神社防災施設改修事業
整備主体	宗教法人 神魂神社
事業期間	平成23年度
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金（文化庁補助事業）
事業位置	 <p>※赤線部分は埋蔵文化財包蔵地 (国造館跡、古墳、横穴、集落跡、散布地など)</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由等	<p>神魂神社は出雲国造家に縁の深い神社の一つであり、「禱家神事」という新嘗祭に供える神饌や出雲国造が常食される穀物の増産を祈願する神事が伝わり、禱家氏子たちによって受け継がれている。この神事は氏子たちにとって最も身近で重要な神事であり、神社と伝統のある幹線、周辺の集落が一体となって良い風情を醸し出しており、出雲国府跡周辺に見られる歴史的風致を構成する神社である。</p> <p>しかし、この神魂神社に設置されている防災施設(防災ポンプ)は、エンジンの老朽化により、十分な水圧、水量が確保出来ない状態にある。そのため、エンジンポンプを交換し、それに付随した設備を見直し、消火設備の整備を図る。また、警備会社の炎センサーを本殿床下中心に自主的に設置しているが、新たに屋根部分もカバーできるように炎感知器を設置し、より全体的に本殿を防災管理できるようにする。これによって神社の防災機能を向上させ、より安全な施設管理を可能にしていく。</p>
事業概要	<p>防災施設改修工事(平成23年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災ポンプ…エンジンポンプ交換、消火設備の整備</li> <li>・炎センサー新設…本殿屋根をカバーするように炎感知器を設置</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>本殿屋根に炎感知器を設置</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>境内にあるポンプ室の室内 (老朽化の進んだ防災ポンプ)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>境内の消火設備(自動放水銃など) ポンプ交換に伴い充実化を図る</p> </div> </div>



vii) 堀川沿線「八百八橋づくり」推進事業

事業名	堀川沿線「八百八橋づくり」推進事業
整備主体	松江市
事業期間	平成23年度～31年度
支援事業名	市単独事業(平成23年度～平成26年度) 防災・安全交付金(道路事業)(平成27年度～平成31年度)
事業位置	
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由等	<p>堀川に架かる橋りょう(特に遊覧船ルート沿線)を、近世城下町の風情を感じさせるデザインに整備し、橋の往来や堀川遊覧船から見る景色をより風情のあるものに充実させていく。内堀に架かる北惣門橋や千鳥橋は江戸期の絵図などを基に整備されている。そうした考え方を基本線として、協議会等で整備方針を確認しながら実施していく。これによって、近世城下町の時代から続く「松江の堀川」の景観・空間をさらに良好なものに高め、堀川における歴史的風致を向上させていくものである。</p>
事業概要	<p>橋りょう(堀川沿線)の美装化工事(平成23年度～)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>東京橋を通過する遊覧船</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>米子川(遊覧ルート)への入口付近にかかる甲部橋</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p style="text-align: center;">橋りょう整備の方針・イメージ (左:北惣門橋 右:千鳥橋)</p>

# viii) 武家屋敷保存修理事業

事業名	武家屋敷保存修理事業
整備主体	松江市
事業期間	平成24年度～30年度
支援事業名	市単独事業(平成24年度) 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(平成28年度～30年度)
事業位置	 <p>武家屋敷</p> <p>史跡松江城</p> <p>※緑線部分は史跡松江城エリア ※赤線部分は松江城下町遺跡</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由等	<p>武家屋敷は、江戸時代中期と推定される建築物で、長屋門、塀、主屋部分が市指定文化財になっている。また、景観計画重点区域(伝統美観保存区域)に指定されている塩見縄手通り沿いにあり、城下町の風情を醸し出す代表的な建築物でもある。</p> <p>しかし、近年、屋根や柱などが老朽化してきており、見学者への安全性や景観性が損なわれている状況が見られる。</p> <p>このため、建造物の修理工事を実施することによって、歴史的建造物を良好な状態に保つことが出来るほか、併せて内部の展示改修工事を行うことによって、市民・観光客に武家屋敷や松江の歴史についての理解を促すことが出来る。</p>
事業概要	<p>老朽化により屋根や柱などが腐食している主屋、長屋門の保存修理工事および内部の展示改修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施設計(平成24年度)</li> <li>・内部展示の整理及び再検討(平成25年度～28年度)</li> <li>・建築物保存修理工事および展示改修工事(平成28年度～30年度)</li> </ul> <div>  <p>長屋門現状</p>  <p>主屋現状</p>  <p>軒先の腐食状況(主屋)</p>  <p>主屋内部の展示状況</p> </div>

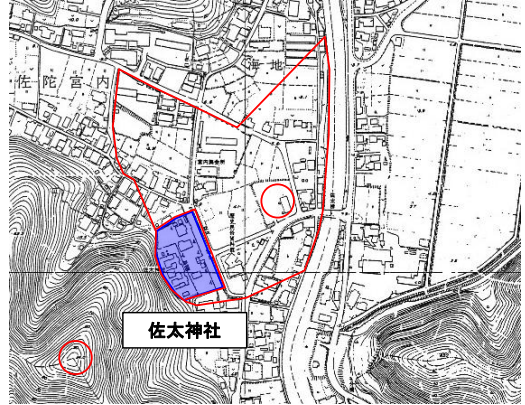





## ix) 舟つきの松公園整備事業

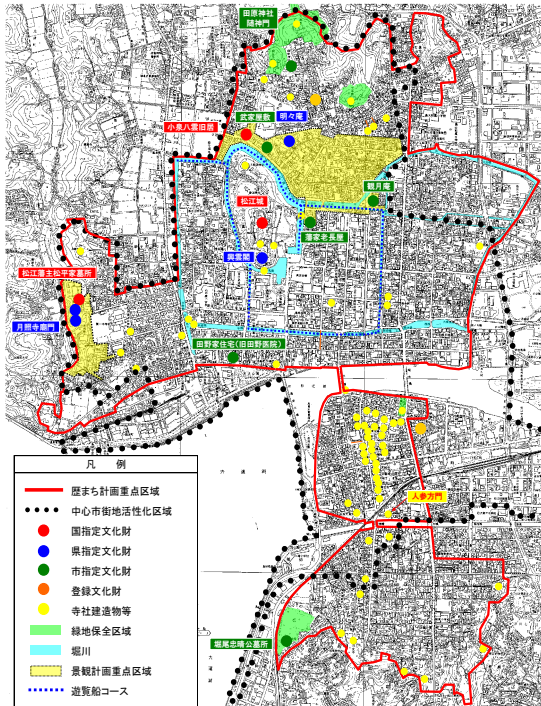
事業名	大手前通り周辺地区(第2期)整備事業(舟つきの松公園整備事業)
整備主体	松江市
事業期間	平成26年度～29年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)
事業位置	
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由等	<p>舟つきの松は、松江藩松平家7代藩主治郷(不昧公)の奥方が仙台伊達家から輿入れした際に、持参した盆栽の松を家老柳多家が拝領して屋敷の舟着場近くに植えたものと伝えられ、舟着場の目印になっていた。松は松江市の指定文化財になっていたが、平成20年に水害の影響で枯死した。舟着場の遺構は現在も残っているが、誘導路や説明板が未整備のため、見学者が訪れにくい状態となっている。</p> <p>本事業を実施することにより、往時の歴史的景観が復元され、堀川に見られる歴史的風致の維持向上に繋がるほか、地域住民の歴史的所産に対する誇りを継承するとともに、市民・観光客に堀川の歴史に対する理解を促すことができる。</p> <p>また、舟つきの松の復元と併せて多目的広場を整備することで、観光客と市民との交流の場を創出し、松江の歴史と文化を伝えていくとともに、旧城下町エリアの東端のまち歩き観光の拠点として、まち歩き観光の一層の促進を図るものである。</p>
事業概要	<p>江戸時代の家老屋敷跡に残る舟入り遺構を整備する他、平成20年に枯死した「舟つきの松(元:市指定文化財)」の2世松を現地に再移植して往時の歴史的景観を復元する。また併せて公園整備(園路・休憩所・多目的広場・説明板等の設置)を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画(平成26年度)</li> <li>・実施設計(平成27年度)</li> <li>・公園整備工事(平成28年度～29年度)</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>往時の舟つきの松</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>整備イメージ図</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>舟着場の遺構(現況)</p> </div>



x) 佐太神社正中殿ほか2棟建造物保存修理事業

事業名	佐太神社正中殿ほか2棟建造物保存修理事業
整備主体	宗教法人 佐太神社
事業期間	平成25年度～27年度
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金(文化庁補助事業)
事業位置	 <div data-bbox="973 638 1380 817"> <p>佐太神社正中殿ほか2棟 建造物保存修理事業区域</p> <p>埋蔵文化財包蔵地</p> </div>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由等	<p>佐太神社は、本殿が3棟並列して建つ豪壮なもので、現在の本殿は文化4年(1807)に造営されている。3棟とも重要文化財に指定されている。</p> <p>本殿はいずれも大社造で、屋根は檜皮葺となっているが、前回の修繕から30年以上経過し、屋根や縁廻りなどが腐朽している状況が見られる。また、基壇石の一部に風化による破損も見られる。</p> <p>本事業を実施することにより、重点区域(鹿島エリア)の中心である佐太神社について将来への維持保全が図られることとなり、神在祭と佐陀神能に見られる歴史的風致の維持向上につながるものと考えられる。</p>
事業概要	<p>○本殿3棟の保存修理工事を実施する。(平成25年度～27年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本殿屋根の檜皮葺替え及び軒廻り修繕</li> <li>・高欄及び縁廻りの解体修理</li> <li>・基壇破損部分の解体修理</li> <li>・本殿壁面の黴除去、床下防蟻処理、建具・金物類修繕 など</li> </ul> <div data-bbox="454 1344 901 1646">  <p>佐太神社本殿現況</p> </div> <div data-bbox="925 1344 1372 1646">  <p>檜皮剥落状況(南殿)</p> </div> <div data-bbox="454 1713 901 2004">  <p>高欄及び縁廻り腐朽状況(正中殿)</p> </div> <div data-bbox="925 1713 1372 2004">  <p>基壇風化状況(正中殿)</p> </div>

x i) 歴史的建造物保全継承事業

事業名	歴史的建造物保全継承事業
整備主体	松江市並びに地域住民
事業期間	平成26年度～31年度
支援事業名	市単独事業
事業位置	 <p>【事業位置】 旧城下町エリア(赤線)および 中心市街地活性化基本計画 の事業区域(黒破線)を中心と した区域</p>
事業が歴史的 風致の維持向 上に寄与する 理由等	<p>松江の歴史的なまちなみを構成する歴史的建造物(指定文化財以外のもの)について、所有者との協働によって適切に保全継承するとともに、それを核として歴史的なまちなみの面的な再生に繋げてゆくことで、松江らしい歴史的風致を将来にわたって維持継承し、観光振興やまちなかの活性化へと繋げてゆくものである。</p>
事業概要	<p>○歴史的建造物悉皆調査 ・旧城下町エリアなど、歴史的建造物が集中しているエリアにおいて、一次調査(外観調査)および二次調査(内部調査)を行い、歴史的建造物の実態を把握する。</p> <p>○歴史まちづくりに関する住民意識の向上 ・悉皆調査の成果に基づき、シンポジウムやWSを通して松江の歴史まちづくりに関する住民意識の向上を図る。</p> <p>○歴史的建造物を保全継承するための制度の創設 ・建造物所有者との保全契約の締結や、新たな登録制度の創設を検討し、建造物所有者との協働によって保全継承を進める。</p> <p>○歴史的建造物の所有者に対する支援 ・相談窓口や支援制度の創設について検討する。</p> <p>○歴史的建造物の活用 ・まちあるきコースへの組み込み等、PRを進めるほか、空家となっている建造物の流通や活用を検討する。</p>

x ii) 国宝松江城天守耐震対策事業



事業名	国宝松江城天守耐震対策事業
整備主体	松江市
事業期間	平成29年度～31年度
支援事業名	市単独事業(平成29年度) 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(文化庁補助事業)(平成30年度～31年度)
事業位置	 <p>※緑線部分は史跡松江城エリア</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由等	<p>松江城天守は城下町松江の歴史的風致を形成する上で中心となる文化財である。天守の耐震補強を実施することによって国宝天守の価値は更に高まり、登閣者の安全が図られるとともに、貴重な歴史的資源を確実に後世に継承できることから、歴史的風致の維持及び向上に寄与するものである。</p>
事業概要	<p>平成23～25年度に実施した天守の耐震基礎診断の結果に基づき、平成25年度に策定した松江城天守保存活用計画で実施することとした耐震補強策を履行するもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画策定(平成29年度)</li> <li>・実施設計(平成30年度)</li> <li>・耐震補強工事(平成30年度～31年度)</li> </ul> <p>◇耐震補強内容</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>①耐力要素の付加(耐震壁の設置) 左:鉄骨フレーム木製カバー(5階設置) 右:木格子壁(3階設置)</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  <p>②屋根面の水平剛性の付加 (5階小屋裏に鉄骨ブレース設置)</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>(断面詳細)</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>③附櫓の補強 (大梁の外れ防止添柱の設置)</p> </div>



x iii) 木幡家住宅新蔵ほか2棟保存修理事業

事業名	木幡家住宅新蔵ほか2棟保存修理事業
整備主体	民間
事業期間	平成31年度
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(文化庁補助事業)
事業位置	
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由等	<p>宍道は古代から交通の要衝地であり、近世には山陰道と雲南・山陽方面へ向かう道との結節点として、また松江藩主の立ち寄る本陣宿を持つ宿場町として発展した。その本陣宿の一軒が木幡家で、主屋、新座敷棟、飛雲閣、新奥座敷棟、奥座敷棟、新蔵、米蔵、三階蔵、宅地が重要文化財に指定され、湯殿、御成門、行啓門、資材蔵、裏門等が附指定となっている。</p> <p>しかし、ここ数年、特に新蔵・米蔵・三階蔵の経年劣化の進行が顕著となっており、屋根瓦の不陸、葺乱れ、外部壁の漆喰剥離等がみられる。</p> <p>重点区域(宍道エリア)の中核をなす木幡家住宅(八雲本陣)の維持保全を図る本事業を実施することにより、近世山陰道沿線に見られる歴史的風致の維持向上につなげるものである。</p>
事業概要	<p>○新蔵・米蔵・三階蔵の保存修理工事を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新蔵: 瓦葺替え、土壁補修、建具修理など</li> <li>・米蔵: 瓦葺替え、土壁補修、建具修理など</li> <li>・三階蔵: 瓦葺替え、土壁補修、建具修理、床組・小屋組木部補修など</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>南面蝋羽揚塗崩落状況(新蔵)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>外部土壁劣化状況(米蔵・三階蔵)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>外部土壁劣化状況(米蔵)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>床下蟻害状況(三階蔵)</p> </div> </div>

x iv) 歴史的風致形成建造物維持保全事業

事業名	歴史的風致形成建造物維持保全事業
整備主体	民間所有者等(松江市:補助)
事業期間	平成31年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)
事業位置	<p>旧城下町エリア</p>  <p>白潟天満宮</p> <p>凡例          松江市歴史的風致維持向上計画          重点区域(旧城下町エリア)          国宝(建造物)          県指定文化財(建造物)          市指定文化財(建造物)          登録有形文化財          『松江城下絵図』に記載のある道</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由等	<p>歴史と伝統を反映した人々の活動と関連が深い「歴史的風致形成建造物」の維持や保存、復元に対する補助を行って、当該建造物を良好な状態に保つことにより、歴史的風致の維持を図るものである。</p>
事業概要	<p>松江市歴史的風致維持向上計画において指定された、民間所有の「歴史的風致形成建造物」の維持や保存、復元にかかる費用に対し補助する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>対象建造物 一般公開等に従い、歴史的風致の維持及び向上に資するための維持保全行為を実施する建造物</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>補助率: 対象経費の2/3以内              限度額: ①建築物 300万円              ②工作物 200万円</p> </div> </div> <p>※平成31年度 予定  <b>【対 象】</b>白潟天満宮 本殿、幣殿及び拝殿</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <p>白潟天満宮(東より)</p> <p>白潟天満宮(南東より)</p> </div>

②歴史的風致を形成する建造物の周辺環境の向上（道路整備・修景など）  
x v）明々庵への「茶の湯のみち」整備事業

事業名	明々庵への「茶の湯のみち」整備事業
整備主体	松江市
事業期間	平成23年度～25年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）
事業位置	 <p>※緑線部分は史跡松江城エリア  ※赤線部分は松江城下町遺跡</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由等	<p>明々庵（茶室）は、松江の歴史的風致である茶の湯文化における代表的な茶室の一つで、松江城が近くに見える場所にあることから、近世の城下町松江の風情を色濃く残している。しかし、茶室へつながる道路は一般的なアスファルト舗装で、塩見縄手からつづく歴史的なみち・空間とのつながりを感じにくい状況にあり、明々庵まで足を運びにくい状況にある。このため、茶室につながる周辺の道路を歴史的まちなみにふさわしい舗装に整備し、歴史的な風情や趣を一層感じさせる空間に高め、市民・観光客にとっても訪れやすい環境にしていくことで、まち歩き観光をさらに充実させていく。</p>
事業概要	<p>明々庵（茶室）つながる周辺の道路（アスファルト敷）の美装化工事を行うもの。  ・「茶の湯のみち」整備工事（実施年度：平成23年度～25年度）</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>明々庵（茶室）</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>明々庵周辺道路①</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>明々庵周辺道路②</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>整備イメージ  ※骨材の質感を生かした自然風仕上げに美装化</p> </div> </div>



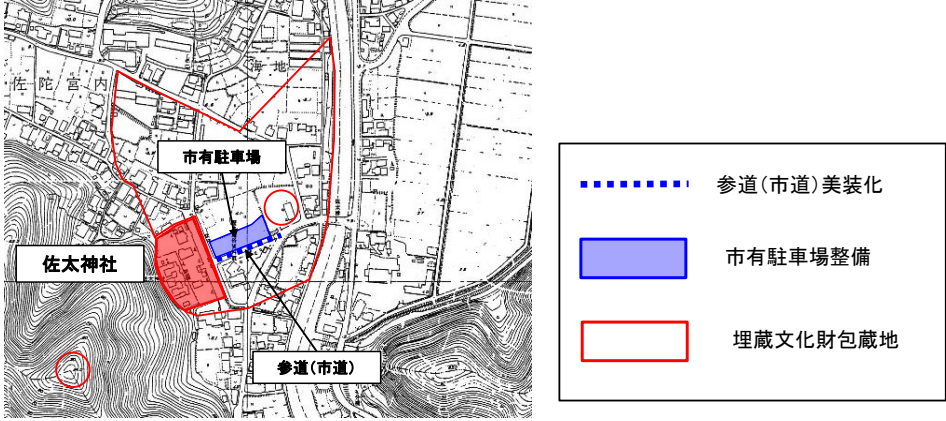


x vi) 明々庵敷地法面对策事業

事業名	明々庵敷地法面对策事業
整備主体	松江市
事業期間	平成24年度～25年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業の効果促進事業)
事業位置	 <p>※緑線部分は史跡松江城エリア ※赤線部分は松江城下町遺跡</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由等	<p>明々庵(茶室)は、松江の歴史的風致である茶の湯文化における代表的な茶室の一つで、松江城が近くに見える場所にあることから、近世の城下町松江の風情を色濃く残している。</p> <p>しかし、近年、茶室へのアプローチとなる階段を含む敷地の法面には地すべりの影響からズレや歪みが生じており、訪れる市民や観光客の安全性の確保が難しい状況にあるため、敷地法面を保護する工事(アンカー工による法面保護など)を実施して安全性の確保を行う。</p> <p>これによって、歴史的建造物とその周辺環境を良好な状態に保ち、市民・観光客にとっても訪れやすい環境を整備することで、まち歩き観光をさらに充実させていくものである。</p>
事業概要	<p>地すべりによる崩落の危険性がある明々庵(茶室)敷地の法面を保護する工事を行うもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本設計、実施設計(平成24年度)</li> <li>・法面对策工事(平成25年度)</li> </ul> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>明々庵(茶室)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>明々庵入口の石段(現況)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>明々庵入口の石段(現況) ※右側へ傾斜している</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>傾斜による石段の隙間(現況) ※コンクリートによる簡易な補修</p> </div> </div>

x vii) 真名井神社線（参道）整備事業

事業名	真名井神社線（参道）整備事業
整備主体	松江市
事業期間	平成23年度～24年度
支援事業名	市単独事業
事業位置	 <p>※赤線部分は埋蔵文化財包蔵地 (古墳、寺院跡、祭祀遺跡、生産遺跡、城跡など)</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由等	<p>真名井神社は出雲国造家に縁の深い神社の一つである。神社の東方には「真名井の滝」と呼ばれる滝があり、ここで酌まれる水は古来より国造家の火継式や新嘗祭に使われるなど、出雲国府跡周辺に見られる歴史的風致を構成する神社である。</p> <p>この真名井神社につながる参道は、意宇平野における古代条里制の区画を残した田園風景の中を縦断しており、「八雲立つ風土記の丘整備基本計画」では、一帯の遺跡の保存・活用を図る上で、人々の動線を確保する重要なアプローチルートに位置づけられている。よって、この参道について、歩道部分は歴史的な景観に合った舗装の整備を施し、その両側にはアプローチルートを充実させる車道の整備を行う。これによって、国府跡周辺エリアの景観を高めるとともに、文化財の保存・活用を充実させることで、歴史的風致の維持及び向上につなげていくものである。</p>
事業概要	<p>参道（歩道部分）を歴史的な景観にふさわしい形に整備するとともに、一帯のアプローチルートとして充実させるために歩道の両側に車道を整備する。</p> <p>・真名井神社線（参道）整備工事（平成23年度～24年度）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>出雲国府跡と条里制遺構、背景は風土記に見える神名樋野（茶臼山）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>真名井神社</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>真名井神社へつづく参道 背景は神名樋野（茶臼山）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>参道整備のイメージ （断面図）</p> </div> </div>

x viii) 佐太神社参道周辺整備事業

事業名	佐太神社参道周辺整備事業
整備主体	松江市
事業期間	平成25年度～27年度
支援事業名	島根県核燃料税交付金(平成25年度) 電源立地地域対策交付金事業(平成26年度～27年度)
事業位置	
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由等	<p>佐太神社の参道は、9月に行われる御座替神事には神職の行列が莫蔭を抱えて通る道であるが、一般的なアスファルト舗装であり、神事が執り行われる歴史的空間としては必ずしもふさわしい形になっていない。また、参道に隣接して広がっている駐車場も同様にアスファルト舗装であり、神社と背景の山を中心に形成されている「まちなみ」が歴史的空間として統一感のないものになっている。このため、佐太神社の参道並びに駐車場を歴史的景観にふさわしい形に整備(美装化)を行い、神社一帯の神々しい風情や趣を一層高めていくことで、古代から続く佐太神社の歴史的なまちなみの充実を図る。</p>
事業概要	<p>佐太神社周辺のまちなみを改善すべく、現在アスファルト敷きの参道及びその周囲について美装化を施すもの。</p> <p>・参道(市道)及び周辺美装化工事(平成25年度～27年度)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <p>参道(本殿付近)</p> <p>参道(鳥居前から) 右側は駐車場</p> </div>



x ix) 宿場町周辺の歴史的小路整備事業

事業名	宿場町周辺の歴史的小路整備事業
整備主体	松江市
事業期間	平成28年度～29年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)
事業位置	
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由等	<p>宍道町は、古代から現代に至るまで交通の要衝地であった場所で、近世期には山陰道から備後国方面へ向かう道の結節点にもあたり、松江藩主の宿である本陣や休憩の際の御茶屋も置かれるなど、宿場町として栄えた。なかでも、毎夏の蓮華祭(祇園祭)の舞台となる氷川神社や近世山陰道の周辺のまち並みは、当時の短冊形の町割りを現在も良く留めており、そのまち並みと蓮華祭の活動とが一体となって近世宿場町に見られる歴史的風致を形成している。</p> <p>この氷川神社や近世山陰道周辺の地域には、短冊形の町割りの特徴を良く示す小路も多く残っているため、これらを歴史的まちなみにふさわしい舗装に整備(美装化)することで、より一層宿場町として栄えた風情・趣を高めることにつなげていくものである。</p>
事業概要	<p>氷川神社並びに近世山陰道の周辺・沿線にある小路の美装化工事を行うもの。 ・歴史的小路の整備工事(平成28年度～29年度)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>氷川神社</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>氷川神社につながる小路 (近世山陰道沿線)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>近世山陰道(八雲本陣前)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>近世山陰道沿線の小路</p> </div> </div>

# ⅩⅩ) 伝統美観保存区域等修景事業費補助金

事業名	伝統美観保存区域等修景事業費補助金																												
整備主体	地域住民(松江市:補助)																												
事業期間	昭和48年度～																												
支援事業名	市単独事業(平成22年度まで) 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(平成23年度～31年度)																												
事業位置	 <p>景観計画重点区域詳細図          伝統美観保存区域          北堀町景観形成区域          清光院下景観形成区域          北殿町惣門橋通り          景観形成区域          石橋一区景観形成区域</p> <p>景観重要公共施設 位置図</p>																												
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由等	<p>「伝統美観保存区域等修景事業費補助金」は松江市景観計画に定める伝統美観保存区域および北堀町景観形成区域等で、市民の財産である松江市固有の伝統美観を保全、城下町の風情等の歴史的風致の維持向上を目的とした市民の修景行為を行政が支援する取り組みである。北堀町景観形成区域等については、区域に定められた景観形成基準より要求の高い補助基準を設定し、伝統美観保存区域とともに、より一体的に歴史的風致が維持向上されるよう促している。</p>																												
事業概要	<p>伝統美観保全区域では景観形成基準を、北堀町景観形成区域等では景観形成基準より要求の高い補助基準を満たす修景行為に対し、下記の要領で補助を行っている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区域</th><th>補助率</th><th>限度額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①塩見縄手地区(景観地区)</td><td>建築物 事業費の70% 工作物 事業費の70%</td><td>600万円 200万円</td></tr> <tr> <td>②普門院外濠地区</td><td>建築物 事業費の2/3 工作物 事業費の2/3</td><td>300万円 200万円</td></tr> <tr> <td>③城山内濠地区</td><td>同上</td><td>同上</td></tr> <tr> <td>④北堀町景観形成区域</td><td>同上</td><td>同上</td></tr> <tr> <td>⑤清光院下景観形成区域</td><td>同上</td><td>同上</td></tr> <tr> <td>⑥北殿町惣門橋通り景観形成区域</td><td>同上</td><td>同上</td></tr> <tr> <td>⑦石橋一区景観形成区域</td><td>同上</td><td>同上</td></tr> <tr> <td>⑧景観重要公共施設(松江堀川)に隣接する区域</td><td>工作物 事業費の2/3</td><td>200万円</td></tr> </tbody> </table> <p>【修景事例】            ◇新築の例             ◇改築の例   </p>		区域	補助率	限度額	①塩見縄手地区(景観地区)	建築物 事業費の70% 工作物 事業費の70%	600万円 200万円	②普門院外濠地区	建築物 事業費の2/3 工作物 事業費の2/3	300万円 200万円	③城山内濠地区	同上	同上	④北堀町景観形成区域	同上	同上	⑤清光院下景観形成区域	同上	同上	⑥北殿町惣門橋通り景観形成区域	同上	同上	⑦石橋一区景観形成区域	同上	同上	⑧景観重要公共施設(松江堀川)に隣接する区域	工作物 事業費の2/3	200万円
区域	補助率	限度額																											
①塩見縄手地区(景観地区)	建築物 事業費の70% 工作物 事業費の70%	600万円 200万円																											
②普門院外濠地区	建築物 事業費の2/3 工作物 事業費の2/3	300万円 200万円																											
③城山内濠地区	同上	同上																											
④北堀町景観形成区域	同上	同上																											
⑤清光院下景観形成区域	同上	同上																											
⑥北殿町惣門橋通り景観形成区域	同上	同上																											
⑦石橋一区景観形成区域	同上	同上																											
⑧景観重要公共施設(松江堀川)に隣接する区域	工作物 事業費の2/3	200万円																											



# x x i) まち歩きルート歩道整備事業

事業名	大手前通り周辺地区（第2期）整備事業（まち歩きルート歩道整備事業）																																						
整備主体	松江市																																						
事業期間	平成25年度～29年度																																						
支援事業名	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）																																						
事業位置																																							
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由等	<p>松江城東側に広がる市街地は、江戸時代には侍屋敷が置かれ、城下町の中心部であった。このエリアには江戸時代の道すじの他、堀川や舟着場など、往時を偲ばせる遺構や家老の名前に因んだ丁名も残っており、まち歩き観光の主要ルートとなっている。</p> <p>しかし、歩道の段差や開渠のままとなった側溝など、歩行者への安全性や城下町としての景観性が損なわれている状況が見られる他、見学者の小休憩のための設備も少ない状況が見られる。</p> <p>本事業を実施することにより、市民や観光客が松江城及び堀川周辺の歴史文化に触れながら安心して散策できる快適な歩行空間が確保でき、松江城周辺のまち歩き観光が促進され、歴史的風致の維持向上に繋がるものである。</p>																																						
事業概要	<p>城山北公園線（大手前通り）や堀川、舟つきの松公園などに接続する市道の美装化や歩道のフラット化、側溝整備等を実施する。</p> <p>○整備事業一覧</p> <table><thead><tr><th>整備事業</th><th>実施年度</th><th>事業概要</th></tr></thead><tbody><tr><td colspan="3">基幹事業</td></tr><tr><td>①（市）北田大手前線</td><td>平成29年度</td><td>歩者道美装化、側溝改良、景観照明設置</td></tr><tr><td>②（市）母衣南北線</td><td>平成26年度～29年度</td><td>歩道フラット化、側溝改良</td></tr><tr><td>③（市）母衣町大橋川線</td><td>平成25年度～26年度</td><td>歩道フラット化、歩道新設、側溝改良</td></tr><tr><td>④（市）南田南北線</td><td>平成25年度～26年度</td><td>側溝改良</td></tr><tr><td>⑤（市）北田大橋線</td><td>平成25年度～26年度</td><td>歩道フラット化、側溝改良</td></tr><tr><td>⑥（市）南田9号線</td><td>平成27年度～28年度</td><td>道路美装化、側溝改良</td></tr><tr><td>⑦（市）南田11号線</td><td>平成27年度～28年度</td><td>舗装新設、側溝新設</td></tr><tr><td colspan="3">提案事業</td></tr><tr><td>⑧末次排水区下水道（雨水）事業</td><td>平成25年度～28年度</td><td>側溝改良</td></tr><tr><td>⑨大手前地区まちづくり推進事業</td><td>平成25年度～29年度</td><td>事業の進捗状況を紹介する「大手前周辺まちづくり便り」の発行</td></tr></tbody></table> <div></div> <div>北田大手前線現状</div> <div>整備イメージ図</div>			整備事業	実施年度	事業概要	基幹事業			①（市）北田大手前線	平成29年度	歩者道美装化、側溝改良、景観照明設置	②（市）母衣南北線	平成26年度～29年度	歩道フラット化、側溝改良	③（市）母衣町大橋川線	平成25年度～26年度	歩道フラット化、歩道新設、側溝改良	④（市）南田南北線	平成25年度～26年度	側溝改良	⑤（市）北田大橋線	平成25年度～26年度	歩道フラット化、側溝改良	⑥（市）南田9号線	平成27年度～28年度	道路美装化、側溝改良	⑦（市）南田11号線	平成27年度～28年度	舗装新設、側溝新設	提案事業			⑧末次排水区下水道（雨水）事業	平成25年度～28年度	側溝改良	⑨大手前地区まちづくり推進事業	平成25年度～29年度	事業の進捗状況を紹介する「大手前周辺まちづくり便り」の発行
整備事業	実施年度	事業概要																																					
基幹事業																																							
①（市）北田大手前線	平成29年度	歩者道美装化、側溝改良、景観照明設置																																					
②（市）母衣南北線	平成26年度～29年度	歩道フラット化、側溝改良																																					
③（市）母衣町大橋川線	平成25年度～26年度	歩道フラット化、歩道新設、側溝改良																																					
④（市）南田南北線	平成25年度～26年度	側溝改良																																					
⑤（市）北田大橋線	平成25年度～26年度	歩道フラット化、側溝改良																																					
⑥（市）南田9号線	平成27年度～28年度	道路美装化、側溝改良																																					
⑦（市）南田11号線	平成27年度～28年度	舗装新設、側溝新設																																					
提案事業																																							
⑧末次排水区下水道（雨水）事業	平成25年度～28年度	側溝改良																																					
⑨大手前地区まちづくり推進事業	平成25年度～29年度	事業の進捗状況を紹介する「大手前周辺まちづくり便り」の発行																																					



### ③歴史・文化を紹介する施設、案内板等の施設の整備事業

#### x x ii) ホーランエンヤ伝承館整備事業

事業名	ホーランエンヤ伝承館整備事業
整備主体	松江市
事業期間	平成22年度～24年度
支援事業名	市単独事業(平成22年度) 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成23年度～24年度)
事業位置	 <p>※緑線部分は史跡松江城エリア ※赤線部分は松江城(城跡)並びに松江城下町道跡</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由等	<p>360年の歴史を持つホーランエンヤの継承と、その魅力を広く内外に伝えるために、「伝承」・「啓発」・「観光」を基本コンセプトにした伝承館の整備を行う。各種の継承活動や担い手育成の施設として活用するとともに、市民・地域住民が学べる場としても機能を果たし、さらには観光客の参加・体験の場にもなるものである。</p> <p>これによって、城下町松江の歴史的風致を構成する伝統神事であるホーランエンヤの継承・育成を図り、市民にも広くホーランエンヤの魅力を広めるとともに、観光の振興につなげていくものである。</p>
事業概要	<p>施設の整備にあたっては、既存の建物を有効活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画策定(平成22年度)</li> <li>・建築設計、設備設計、展示設計</li> <li>・建築設備工事、展示製作</li> </ul> <p>}(平成23年度～24年度)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>計画地・建物</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>改修整備を行う建物施設</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>館内には様々な資料を展示</p> </div> </div>

## x x iii) 歴史・文化のまちあるき案内板設置事業

事業名	歴史・文化のまちあるき案内板設置事業
整備主体	地域住民(松江市:補助)
事業期間	平成21年度～
支援事業名	市単独事業(平成21年度～24年度、28年度～) 社会資本整備総合交付金(道路事業の効果促進事業)(平成25年度～27年度)
事業位置	旧城下町エリアを中心に 市内一円で実施 
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由等	松江の歴史的建造物やまちなみなどの要素を活かしながら「まち歩き観光」を推進していくために、各地区で作成されるまち歩きルート(歴史・文化的資源が基礎)の説明板や、歴史的意義のある地名・町(丁)名の由来などの案内板を設置する。これによって、観光客や市民がテーマ性のある魅力的なまち歩きを楽しめるようになり、松江の歴史的な風情や空間をより深く感じることができるようになる。
事業概要	まち歩きルート説明板や、歴史的意義のある地名・町(丁)名の由来などを示す案内板の設置(各地区の提案事業を市が補助)  まち歩きルートの説明板(白湯地区)   小路の案内板(白湯地区)

x x iv) まち歩き観光拠点整備事業

事業名	地域創造支援事業(カラコロ工房整備事業)
整備主体	松江市
事業期間	平成26年度
支援事業名	地域の元気臨時交付金
事業位置	
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由等	<p>松江城東側に広がる市街地は、江戸時代には侍屋敷が置かれ、城下町の中心部であった。このエリアには江戸時代の道すじの他、堀川や舟着場など、往時を偲ばせる遺構も多数残っており、まち歩き観光の主要ルートとなっている。</p> <p>まち歩き観光の主要ルート沿いで、堀川に面した歴史的建造物(旧日銀松江支店)については、まち歩き観光の拠点「カラコロ工房」として整備しているが、旧中庭(ガーデンテラス)には屋根が無いため、雨天時は観光客が集まる場所が無いなど、まち歩き拠点としての機能を十分に果たせていない状況が見られる。</p> <p>本事業を実施することにより、天候に左右されない「まち歩き観光」の拠点が整備でき、まち歩き観光が更に推進されるとともに、歴史的風致の維持向上にもつながっていくものである。</p>
事業概要	<p>歴史的建造物(旧日銀松江支店)の旧中庭(ガーデンテラス)に雨天時でも観光客が集まったり、休憩できるように屋根を設けるもの。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>旧日銀松江支店(現:カラコロ工房)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>まち歩き案内板設置状況</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">   </div> <p style="text-align: center;">まち歩き拠点整備として旧中庭(現:ガーデンテラス)に屋根を設置</p>



#### ④その他、歴史的風致の維持及び向上に資する事業

##### x x v) 松江・歴史文化まちづくり推進事業

事業名	松江・歴史文化まちづくり推進事業
整備主体	松江市並びに地域住民
事業期間	平成23年度～31年度
支援事業名	市単独事業、社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)
事業位置	 <p>重点区域(5地区)を中心とする 市内のエリア</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①旧城下町エリア</li> <li>②国府跡周辺エリア</li> <li>③美保関エリア</li> <li>④鹿島エリア</li> <li>⑤穴道エリア</li> </ol>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由等	<p>「松江・歴史文化まちづくり推進事業」は、住民の発意による魅力と個性ある歴史的まちなみを形成する提案事業を、行政が積極的に展開・支援していく内容である。これは、松江固有の歴史的風致を市民・行政の一体となった取組みによって幅広く、総合的に維持・向上していくもので、歴史的風致維持向上施設の整備及び管理とともに松江の歴史的まちなみの形成を推進するものである。</p>
事業概要	<p>松江市歴史的風致維持向上計画で重点区域に指定する地区を中心に、住民の発意から始まる歴史的まちなみの形成、魅力と個性あるまちづくりを進める提案事業を支援する。</p> <p>【具体的な事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的建造物修復・再生事業(公・民)</li> <li>・テーマロード整備事業(公)</li> <li>・みち筋景観修景事業(民) など</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>地域住民の現地調査による 歴史的まちなみの分析・把握</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ワークショップによる意見交換</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>歴史的まちなみを高める提案</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>事業の実施 (例: 歴史的まちなみに沿った道づくり)</p> </div> </div>

x x vi) わがまち自慢発掘プロジェクト事業

事業名	わがまち自慢発掘プロジェクト事業
整備主体	地域住民(松江市:補助)
事業期間	平成22年度～25年度
支援事業名	市単独事業(平成22年度) 社会資本整備総合交付金(道路事業の効果促進事業)(平成23年度～25年度)
事業位置	<p>市内全域(29地区)で実施</p> 
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由等	<p>地域ごとに歴史・文化的価値の高いものを中心にお宝を選抜し、それらをつなぐ“まち歩きルートマップ”を作成する事業で、地域における資源(お宝)をまちづくりや観光振興に活かしていこうとする取り組みである。これによって市民の地域への愛着心を育み、各地域の特色に基づいた歴史的なまちなみの形成や地域学習、さらにまち歩き観光の振興につなげていくものである。</p>
事業概要	<p>各地区のまち歩きルートマップ作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年度:9地区</li> <li>・平成23年度:6地区</li> <li>・平成24年度:7地区</li> <li>・平成25年度:7地区</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>地域のお宝、まち歩きテーマの検討</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>まち歩きワークショップの実施</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>地域独自のまち歩きマップの完成</p> </div>

x x vii) 松江市史編纂事業

事業名	松江市史編纂事業
整備主体	松江市
事業期間	平成21年度～31年度
支援事業名	市単独事業
事業位置	松江市内
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由等	<p>松江市が今後、独自の歴史的風致の維持及び向上を図っていくには、ふるさと松江の歴史・文化を悉皆的に、専門的に調査し、記録化していく作業が望まれるところである。また、市民主体の地域づくりやそれに関わる文化の情報発信が求められる中では、地域の歴史や文化を確認し合い、未来へのあゆみを確固たるものとしていく作業をより一層すみやかに、かつ、的確に進めていくことが大切である。</p> <p>松江市では、平成20年度から松江市史編纂事業に取り組んでおり、松江の歴史・文化を悉皆的に、専門的に調査し、松江市史編纂基本計画に基づいて順次「松江市史」として刊行していく予定である。市史編纂事業によって得られる成果は、歴史的風致の維持及び向上にあたっての根本的、基本的なデータとなるものであり、これを市民と行政が広く享受することによって、歴史・文化を育む様々な取り組みや活動が一層充実したものになっていく。</p>
事業概要	<p>【市史出版計画】</p> <p>平成23年度 史料編『近世Ⅰ』、『考古資料』</p> <p>平成24年度 史料編『古代・中世Ⅰ』、『近世Ⅱ』</p> <p>平成25年度 史料編『中世Ⅱ』、『絵図・地図』</p> <p>平成26年度 通史編『自然環境・原始・古代』、史料編『近世Ⅲ』</p> <p>平成27年度 通史編『中世』、史料編『近世Ⅳ』、別編『民俗』</p> <p>平成28年度 史料編『近現代Ⅰ』</p> <p>平成29年度 別編『松江城』</p> <p>平成30年度 通史編『近世Ⅰ』</p> <p>平成31年度 通史編『近世Ⅱ』、『近現代』、史料編『近現代Ⅱ』、『自然環境』</p> <p>【市史編纂事業に伴う基礎調査】</p> <p>[記録史料悉皆調査][松江城調査][松江市域での図書出版物調査][石造物調査][建造物調査][戦争体験調査][新聞記事採録調査][統計史料調査][民俗調査][地名、伝承調査][自然環境調査]</p> <p>【市史付帯出版物】</p> <p>[松江市ふるさと文庫][松江市歴史叢書(市史研究、松江城研究)][松江市歴史史料集][松江市史副読本][松江市歴史年表・松江市史索引]</p>



x x viii) 松江市ふるさと文庫等製作事業

事業名	松江市ふるさと文庫等製作事業
整備主体	松江市
事業期間	平成17年度～
支援事業名	市単独事業
事業位置	松江市内
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由等	<p>近年、「ふるさと松江の歴史・文化をもっと詳しく、もっとわかりやすく紹介してほしい」との声は日増しに高まっている。</p> <p>そのような中で、松江市では、平成17年度から「松江市ふるさと文庫」「松江市歴史史料集」「松江市歴史叢書(市史研究、松江城研究)」を逐次刊行している。市民とともに松江市の過去・現在・未来を確認する手段として、また松江市文化財保護行政の基本理念を周知するため、今後も歴史史料の収集・調査とそれに伴う刊行物を通じた情報発信に努めていく。また、この松江市ふるさと文庫等を活用した市民の地域学習も展開されることで、松江の歴史に対する理解と認識が一層深まり、松江の歴史的風致の維持及び向上の機運を醸成させるものである。</p>
事業概要	<p>・松江市ふるさと文庫 松江市域の様々なテーマ(主として地域の歴史)で記述された市民向けのブックレット。市民の歴史学習、地域学習に活用されることを期待している。毎年1冊を刊行予定。</p> <p>・松江市歴史史料集 松江市域の基本的歴史史料を調査・翻刻し、纏めるもの。市民の歴史学習、地域学習に活用されることを期待している。調査の進み具合と史料の内容により、逐次刊行予定。</p> <p>・松江市歴史叢書(市史研究、松江城研究) 松江市の歴史に関すること、市史に関すること、松江城に関することについて、論功を纏めたもの。市民の歴史学習、地域学習に活用されることを期待している。毎年市史研究、松江城研究の各1冊を刊行予定。</p> 

x x ix) 松平不昧公200年祭記念事業

事業名	松平不昧公200年祭記念事業
整備主体	不昧公200年祭記念事業推進委員会(松江市:補助)
事業期間	平成30年度～31年度
支援事業名	菅田庵修復:国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(文化庁補助事業) その他:市単独事業
事業位置	旧城下町エリアを中心に 市内一円で実施 
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由等	松江は“お茶処”として知られており、茶の湯文化を広めたのが、松江藩松平家7代藩主治郷(不昧公)であり、市内には菅田庵や明々庵といった不昧公ゆかりの茶室が残っている。 平成30年は不昧公没後200年の節目の年であり、不昧公の遺徳を偲ぶとともに歴史的価値の顕彰を行い、記念茶会や記念展示などを通じた情報発信や文化事業を実施することにより、茶の湯文化の継承・発展が図られ、歴史的風致の維持向上に寄与するものである。
事業概要	<p>【記念展示】</p> <p>○松平不昧展 ○不昧公200年祭記念企画展</p> <p>【記念茶会】</p> <p>○不昧公200年祭記念茶会 ○菅田庵竣工披露記念茶会 ○松江城大茶会</p> <p>【菅田庵修復】</p> <p>○重要文化財(菅田庵・向月亭)保存修理事業 ○史跡及び名勝菅田庵整備事業</p> <p>【茶の湯の文化創造・文化観光】</p> <p>○親しみやすい「ちやのゆ」 ○名物の復刻・創作 ○百貨店等連携文化企画 ○まち歩き・まち周遊 ○不昧公文化フォーラム ○後継者育成事業</p> <p>【記念展示】</p> <p>松平治郷(不昧公)</p> <p>【菅田庵修復】</p> <p>菅田庵</p> <p>向月亭</p> <p>【記念茶会】</p> <p>松江城大茶会</p> <p>【茶の湯の文化創造・文化観光】</p> <p>茶の湯堀川遊覧船</p>

× × ×) 松江城授業プロジェクト

事業名	松江城授業プロジェクト
整備主体	松江市
事業期間	平成28年度～
支援事業名	市単独事業
事業位置	 <p>※緑線部分は史跡松江城エリア</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由等	<p>松江城、松江歴史館及び松江ホーランエンヤ伝承館の見学を通じて、国宝松江城天守の歴史的価値や城下町の特徴等を理解し、学習意欲が高まることにより、地域に対する愛着や誇り、地域の歴史・文化を次世代に継承する意識が醸成され、歴史的風致の維持及び向上に寄与するものである。</p>
事業概要	<p>市内の小学6年生を対象に、国宝松江城天守の歴史的価値や魅力を理解し、地域に対する愛着と誇りの醸成及び自ら学ぶ意欲を高めていく。</p> <div data-bbox="421 1151 729 1590">  <p>わがまち松江の誇り 国宝 <b>松江城</b> ハンドブック 平成29年3月 松江市教育委員会</p> </div> <div data-bbox="762 1151 1396 1590">  <p>6 松江城内の特徴 7 松江城を守るために整備されたまち</p> </div> <p>■松江城ハンドブック</p> <div data-bbox="421 1686 895 1995">  </div> <div data-bbox="906 1680 1396 1995">  </div> <p>■松江城見学</p>